

<html>

<head>

<meta>, <link>, <script>, <title>などブラウザ内部に表示されないものの記述

<body>

<div id="container">

<header>

<main>

<footer>

ここは、containerの外におく場合もあって良いかも

containerに入れない表示項目（スマホでのハンバーガーメニュー、ページトップボタン、body読み込み最後で実行させたいscript（注）など）

表示幅の考察と実験

1. ブラウザwindowを横に広げたときに、広げただけbodyコンテンツがそのまま横いっぱいにはびこり続けるというのは、実は中のコンテンツによっては、読みにくい。ある程度の幅を最大として表示したほうが良いケースがある。(これは自身の感覚である)
2. bodyの背景は、bodyの大きさにとどまらず、window全体に適用される。
(windowを大きくしたとき、bodyのmax-widthを設定していたとしても、bodyそのものはそれ以上広がらないものの、広がったwindow全体に背景が広がっている)
3. bodyの中のheader/main/footerなどの幅の最大を制限するには、body直の子要素として、div id="container"などを用意しておくのが良いと考える。
4. scriptの記載位置(<head>内なのか、<body>の最後なのか)には、ブラウザのDOMレンダリングの仕組みの理解が必要である。
ただし、記載を集めておきたい、といったこともあろう。その場合は、script要素のdefer属性での調整との手もあるので、ネットなどでより知見を深めるべし。

ブラウザのウィンドウ

<body>

<div id="container">

<header>

<main>

<footer>

bodyに背景を設定したとき、bodyの最大幅を制限したとしても、背景はブラウザウィンドウ全体に拡張されて表示される。(図の薄いうぐいす色にとどまらず、濃いうぐいす色のところまで拡張される)

containerに設定した背景は当然containerだけに表示される。しかし、そのbackground-size:100%の指定のときに、その100%とは、ブラウザのウィンドウ幅の100%とした動きとなる。

background-attachment:fixedの場合にはビューポート全体とするとの規定があるので、この動きになる。